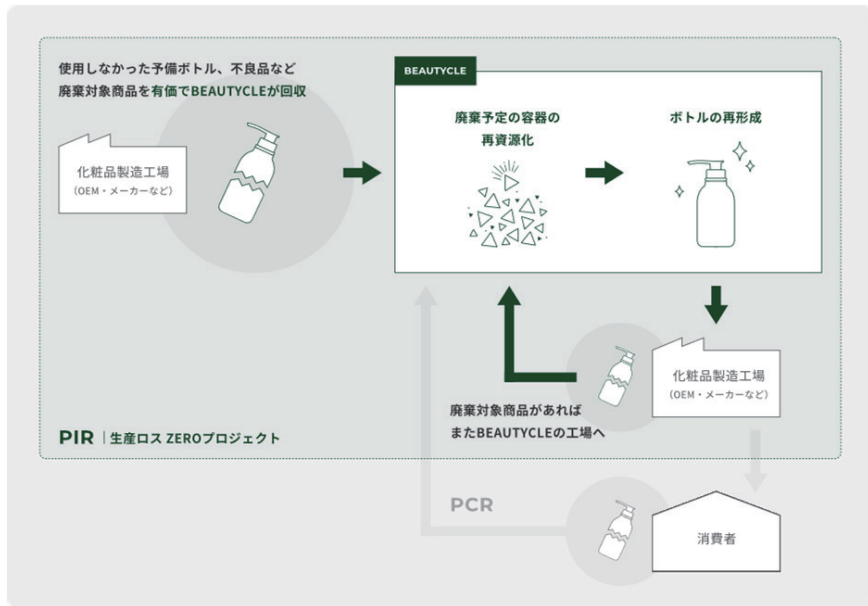


CASE 13

化粧品・トイレタリー容器の循環型リサイクルシステム



プロジェクト概要

これまで達成が難しかった化粧品・トイレタリー用品の循環を実現

化粧品・トイレタリー容器の循環型リサイクルシステムは、今まで捨てられていた「化粧品・トイレタリー容器」を回収し、新品のボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル」の取組。プロジェクトの中心となって遂行する株式会社BEAUTYCLEでは、使い終わった容器を原料に戻し、新しい容器を作る樹脂に還元できる仕組み、印刷等の加飾した容器であっても再び樹脂に戻すことができる技術を有し、これまで実現が難しかった化粧品・トイレタリー用品での「ボトルtoボトル」を可能としている。

使用済みの容器のほか、製造過程で出たロスも無駄にすることなく回収し、還元している。成形工程は、株式会社BEAUTYCLE内の成型工場で再生させるため、トレーサビリティも可能である。

<Rethink: モノ自身やその関わり方に対する価値の捉えなおし>

■ 循環する貴重な「資源」として、今まで捨てられていた「化粧品・トイレタリー容器」に着目。

プロジェクト関係者

(株)BEAUTYCLE

循環型リサイクルシステム全体管理・コーディネート

化粧品・トイレタリーメーカー/OEM等
(株)アートネイチャー、(株)I-neほか

リサイクルボトルの活用、廃棄商品の提供、使用済みボトルの回収

(株)ツバキスタイル

(株)BEAUTYCLEへの出資、普及活動

(株)グラセル

(株)BEAUTYCLEへの出資、普及活動